

平成28年度 アイヌ文化公開講座キロロアン

～キロロアンとはアイヌ語で「うれしい」、「楽しい」という意味です。



「常陸国そして蝦夷地」

講師：佐々木 利 和 氏

(北海道大学アイヌ・先住民研究センター客員教授)

江戸時代、水戸藩は他藩にさきがけて北方に関心を寄せ、風土やそこに暮らすアイヌの文化についての知識を求めました。水戸藩2代藩主徳川光圀は、蝦夷地探検を計画し、大船を建造し、石狩地方との交易や調査を実施しました。

蝦夷地を踏査した茨城ゆかりの探検者たちが記したアイヌの人々の生業などを記録した文献から常陸国と蝦夷地のかかわりを探ります。

★ 平成29年2月4日(土)～3月20日(月)まで茨城県立歴史館にて平成28年度アイヌ工芸品展「イカラカラアイヌ刺繍の世界」が開催されます。今回のキロロアンは工芸品展で展示される資料の一部を解説していただく予定です。

日 時 平成29年1月13日(金) 19:00～20:30

会 場 アイヌ文化交流センター 大会議室

(東京都中央区八重洲2丁目4-1 3ユニゾ八重洲二丁目ビル3階)

TEL: 03-3245-9831 FAX: 03-3510-2155

定 員 40名程度 (申込不要: 満員の場合はご容赦ください)

参加費 無 料

主 催 (公財) アイヌ文化振興・研究推進機構